

## セーレン (3569)

担当 近藤 浩之

レーティング: **OUTPERFORM** (2025/9/4) → **OUTPERFORM**

- ※ 世界シェアNo.1のカーシート表皮材など、繊維技術を基盤に多分野展開
- ※ 過去最高の業績を達成
- ※ 成長分野への積極投資に加えて、ユニチカ繊維事業を買収

	売上高 (百万円)	伸び率 (%)	営業利益 (百万円)	伸び率 (%)	経常利益 (百万円)	伸び率 (%)	純利益 (百万円)	伸び率 (%)	EPS (円)	1株配 (円)
連 22/3	109,771	11.2	10,901	27.1	11,927	26.2	8,553	36.8	159.43	38.00
連 23/3	132,364	20.6	12,831	17.7	15,345	28.7	11,023	28.9	205.43	46.00
連 24/3	141,915	7.2	14,068	9.6	16,214	5.7	12,156	10.3	226.53	53.00
連 25/3	159,653	12.5	17,865	27.0	19,277	18.9	13,887	14.2	242.29	68.00
連 26/3(会社予)	162,700	1.9	20,000	11.9	21,200	10.0	15,200	9.4	258.69	76.00
連 26/3(今村予)	170,000	6.5	20,500	14.7	21,700	12.6	15,500	11.6	263.00	80.00
第2四半期累計期間										
連 24/4-9	78,033	17.1	8,221	36.4	9,069	12.8	6,710	16.5	120.05	30.00
連 25/4-9	80,983	3.8	10,259	24.8	10,915	20.4	7,972	18.8	135.78	38.00
株価(2025/11/21)			3,150	円						
発行済み株式数(25/9末)			64,633	千株						
自己株式数(25/9末)			5,825	千株						
時価総額			203,595	百万円						
企業価値(EV)			168,090	百万円						
ROE(25/3実績)			10.4	%						
予想配当利回り(26/3今村予)			2.5	%						
予想PER(26/3今村予)			12.0	倍						
BPS(25/9実績)			2,482.60	円						
PBR			1.3	倍						
CFPS(25/3実績)			358.3	円						
PCFR			8.8	倍						
EV/EBITDA(25/3実績)			4.3	倍						



出所:セーレン、ブルームバーグ、今村証券

### ※ 世界シェアNo.1のカーシート表皮材など、繊維技術を基盤に多分野展開

「車輛資材」(自動車・鉄道等のシート材、エアバッグ、加飾部品)が前期(2025年3月期)売上高全体の7割弱を占める。カーシート材の世界シェアトップであり、特に合成皮革シート材で高シェアを誇る。「ハイファッション」(各種衣料製品、衣料用繊維加工)、「エレクトロニクス」(導電性素材、工業用ワイピングクロス、ビスコテックス・システムおよびサプライ等)、「環境・生活資材」(建築用資材、インテリア用資材、健康・介護商品、環境・土木資材)、「メディカル」(医療用資材、化粧品、水処理用資材)なども手掛ける。

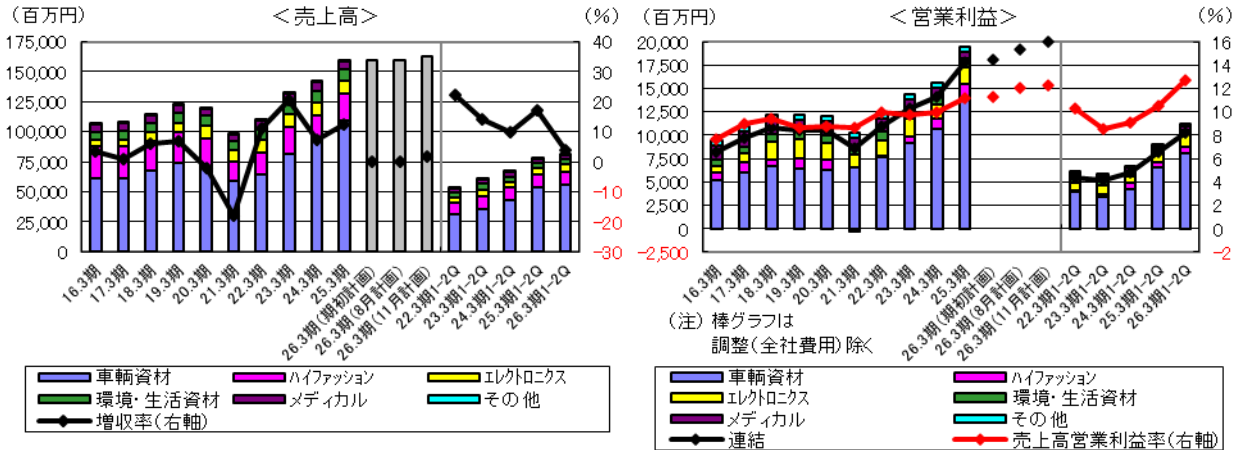
### ※ 過去最高の業績を達成

今期(2026年3月期)第2四半期累計期間業績は好調を維持した(資料1、出所:決算短信・決算説明資料)。「車輛資材」と「エレクトロニクス」の伸び幅が大きく、両セグメントの売上高と営業利益は第2四半期累計期間として過去最高だった。「車輛資材」はメキシコで新規車種立ち上げに伴って受注が増え、中国では一部の日系自動車メーカーの販売回復が寄与した。「エレクトロニクス」は半導体関連や人工衛星、ゲーム機やモバイル端末向け商材が拡大した。

第3四半期以降も「車輛資材」「エレクトロニクス」を中心に堅調な業績が見込めるとし、通期会社予想を上方修正した。売上高は4期連続、営業利益、経常利益、純利益は5期連続で過去最高を更新する見通しだ。「車輛資材」はメキシコでの受注が減速する一方、その他の地域は引き続き好調な受注を見込む。米国に輸入する商材や原材料の一部でみられるトランプ関税による

コスト増加は価格転嫁で対応できている。為替の前提レートは円安方向に修正した(1ドル=148円(8月予想比5円円安)、1人民元=20.5円(同0.7円円安))。尚、ユニチカの繊維事業買収(後述)の影響は織り込まれていない。

(資料1) 業績の推移



## ※ 成長分野への積極投資に加えて、ユニチカ繊維事業を買収

今期からの3年間で総額300億円の成長分野投資を実施する(資料2、出所:決算説明資料)。この投資の中心は「車輛資材」だ。

主にシート材に用いられる合成皮革「QUOLE(クオーレ)」の増産投資を、すでに進行中のメキシコに加えて、タイ、インドでも予定する。「QUOLE」は重量が本革の約1/2と軽量化に役立ち、耐久年数は10年以上、耐摩耗性は本革の4倍である。「夏熱くならず、冬冷たくならない」素材のため車内体感温度を下げ、エアコン稼働の抑制が可能となり、製造工程で水や溶剤の使用を抑えたり、リサイクル系や植物由来の原料を使用したりといった環境負荷低減や、動物愛護にも貢献できる。

ポリエステル製エアバッグの一貫生産体制構築も進める。エアバッグの素材はナイロンが主流だったが、リサイクル性や製造工程での二酸化炭素排出量の少なさを背景にポリエステルの需要が高まっていることに対応する。

来年1月には、ユニチカの岡崎事業所(愛知県岡崎市)で営む繊維事業を買収する。不採算事業からの撤退、老朽化した設備の自動化・合理化投資を実施した上で、ユニチカが手掛ける不織布や機能性差別化原糸を用いた製品を開発していく。

(資料2) 成長投資額

車輛資材	・次世代車種シート材(電気自動車・ハイブリッド車・プラグインハイブリッド車) ・一貫生産エアバッグ	115億円
エレクトロニクス	・炭素繊維 ・人工衛星 ・半導体	65億円
環境・メディカル	・分離膜スパーサー ・環境対応繊維	65億円
他	・自動化、DX化 ・非繊維ビスコテックス	55億円

## ※ 投資判断はOUTPERFORM継続

今村証券による今期業績予想は会社予想を若干上回る、売上高1700億円(前期比+6.5%)、営業利益205億円(同+14.7%)、純利益155億円(同+11.6%)。来期(2027年3月期)予想は売上高1900億円(今期今村証券予想比+11.8%)、営業利益215億円(同+4.9%)、純利益161億円(同+3.9%)とする。ユニチカの繊維事業買収による業績影響について、会社の目標は売上高が年間200~300億円、来期営業黒字化であるが、今村証券予想では今期、来期ともに売上高を年間200億円、営業損益を数億円の赤字との前提にした。既存事業は好調が続くとみた。

投資判断はOUTPERFORMを継続する。

---

## 【当社の概要】

商号等：今村証券株式会社  
金融商品取引業者 北陸財務局長（金商）第3号  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

---

## 【手数料】

国内株式等の売買取引には、約定金額に対して最大1.201750%(税込) (1.201750%に相当する金額が2,612円未満の場合は2,612円(税込))の委託手数料をご負担いただきます。

外国株式(外国ETF、外国預託証券を含む)の外国金融商品市場等における委託取引にあたっては、売買金額(約定金額に外国金融商品市場における手数料と税金等を購入の場合には加え、売却の場合は差し引いた額)に対し、最大0.990%(税込)の国内取次手数料をいただきます。外国金融商品市場での取引にかかる手数料、税金等は国(市場)により異なります。外国株式(外国ETF、外国預託証券を含む)の売買、配当金等の受取り等にあたり、円貨と外貨を交換する際は、外国為替市場の動向をふまえて今村証券が決定した為替レートを用います。

---

## 【リスクについて】

日本および外国の株式・債券への投資は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより、投資元本を割り込むリスクがあります。

---

## 【アナリストによる証明】

本資料に示された見解は、言及されている発行会社とその発行会社等の有価証券について、各アナリストの個人的見解を正確に反映しており、さらに、アナリストは本資料に特定の推奨または見解を掲載したことに対して、いかなる報酬も受け取っておらず、今後も受け取らないことを認めます。

---

## 【レーティングの定義】

OUTPERFORM：今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンを10%超上回ると予想される。  
NEUTRAL：今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンの+10%と-10%の間に入ると予想される。  
UNDERPERFORM：今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンを10%超下回ると予想される。  
トータルリターン：株価変動率+配当利回り  
目標株価は12ヶ月間の投資を想定しており、将来発行されるレポートで修正されることもあります。

---

## 【免責・注意事項】

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的とし、信頼できると思われる各種データに基づき作成したものです。正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見・予測等は、作成時点における今村証券の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。本資料は投資結果を保証するものではありませんので、本資料の内容について第三者のいかなる損害賠償の責任を負うものでもありませんし、本資料に依拠した結果として被った損害または損失について今村証券は一切責任を負いません。投資に関する最終決定はご自身の判断で行ってください。今村証券は本資料に関するご質問やご意見に対して、何ら対応する責任を負うものではありません。

今村証券及びその関連会社、役員が、本資料に記載されている証券もしくは金融商品について、自己売買または委託売買取引を行うことがあります。

本資料は今村証券の著作物であり、著作権法により保護されております。今村証券の事前の承認なく、また電子的・機械的な方法を問わず、本資料の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することを禁じます。